

第59期 事業報告書

平成15年4月1日～平成16年3月31日



前田建設工業株式会社

目次

株主の皆様へ	1
MAEDAニュース	3
主な受注・完成工事	6
完成工事紹介(土木部門)	7
完成工事紹介(建築部門)	8
業績の推移(単体)	9
単体財務諸表の要旨	10
連結財務諸表の要旨	11
株式の状況	12
会社の概要	13
役員	14



「So, Solution !」

表紙：「M. M. TOWERS」

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は平成16年3月31日をもって、第59期を終了いたしましたので、営業の概況をご報告申し上げます。

当期におけるわが国経済は、米国を始めとした世界経済が回復するなかで、輸出や生産が緩やかに増加し、年度後半から株価の上昇傾向がみられるなど、企業収益に改善の兆しが見られました。一方、雇用・所得環境に目立った改善がないことから、個人消費は引き続き低調に推移するなど、景気は総じて力強い回復までには至りませんでした。

建設業界におきましては、民間設備投資、住宅着工は堅調に推移いたしました。一方、公共投資は、国、地方ともに依然として財政状況が厳しく5年連続の減少となり、建設投資全体では、55兆円を割り込む見込みとなりました。

このような状況のなか、当社は、事業の効率化、技術力の向上、新たな事業領域の拡大を図ることを目的に、平成15年10月に東洋建設の第三者割当増資を引き受けるとともに、同社との業務提携をより一層強化し、「共同技術開発」、「共同購買によるコスト削減」などに取り組んでまいりました。

また、収益力の一層の強化による業績の向上を目指し、建築分野におきましては、選別受注を強化し、得意とする超高層RC住宅や教育関連施設、医療・福祉関連施設などの受注拡大に、土木分野におきましては、国内外ともにエンジニアリング力を活かしたきめ細やかな営業展開に努めてまいりました。

この結果、受注高につきましては、建築工事は、前期比

1.6%増の2,582億円余、土木工事は、前期比14.7%減の1,202億円余、受注高合計は前期比4.2%減の3,785億円余となりました。

なお、官民別比率は、官公庁工事32.2%、民間工事67.8%でございます。

売上高（完成工事高）につきましては、建築工事が前期比6.9%増の2,803億円余、土木工事が前期比1.1%増の1,524億円余、売上高合計は4,327億円余で前期比4.8%増となりました。これにより手持工事高（次期繰越高）は前期比7.6%減の6,588億円余となっております。

次に利益につきましては、建築工事のエンジニアリングの強化、施工の効率化等により、営業利益は53億円余、経常利益は55億円余となり、当期純利益は25億円余となりました。

なお、特別損益につきましては、退職制度の変更に伴う早期転職支援加算金や、株式市場の回復などによる投資有価証券評価損戻入額等を計上いたしました。

今後の見通しにつきましては、設備投資の先行きに不透明感があるものの、景気は民需中心の緩やかな回復基調をたどり、企業収益も引き続き改善されるものと見込まれます。また、雇用・所得環境も厳しいながらも持ち直しが期待され、個人消費に関しましても次第に明るさが見えてくるものと予想されます。

建設業界におきましては、民間設備投資の増加に若干の期待感が見られるものの、民間住宅投資に拡大の要因が見受けられず、また、公共投資は国、地方とも財政上の抑制による削減傾向が続くことなどから、中長期に亘る需要の減少は避けられないものと予測されます。

このような状況のなかで当社は、平成16年度より「価格競争力の向上」、「ソリューション機能の強化」、「ブランド力の向上」、「新規市場の開拓」、「グループ経営体制の再構築」を柱とする中期経営計画を策定し、グループワイドでの収益力向上に、全社一丸となって取り組んでまいります。

今後とも、社会全体から厚く信頼される企業となるべくより一層の社業の発展に努力を重ねる所存でございます。

株主の皆様におかれましては、今後とも何とぞ格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成16年 6 月



代表取締役社長

前田靖治

— 世界最長の斜張橋建設工事を受注 — <香港のストーンカッターズ斜張橋>



(完成予想図)

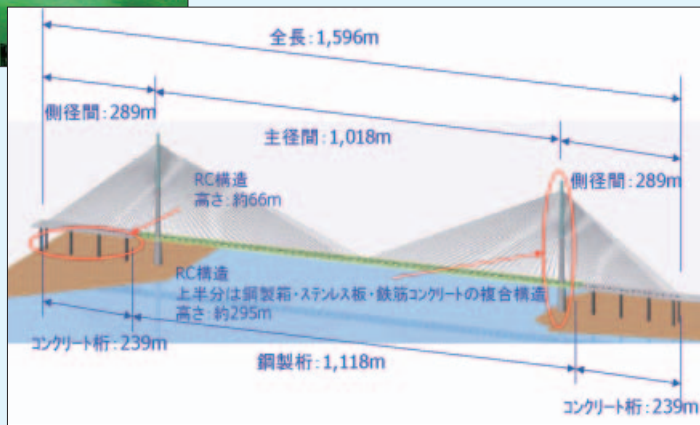
香港の新界青衣島（チンイ島）と九龍昂船州（ストーンカッターズ島）を結ぶ世界最長の斜張橋である「ストーンカッターズ斜張橋」建設工事を日立造船㈱、㈱横河ブリッジ、新昌营造廠有限公司とともに受注しました。

本橋は建設中の高速道路ルート8号線のうち、ランプラー海峡に架けられる片側3車線の道路橋（幅員53.3m）です。全体の橋長は1,596m、主径間は1,018mで日本の多々羅大橋（しまなみ海道）より128m長く、完成後は世界一の長大斜張橋になります。2基の主塔の高さは295mで、その上半部は世界で初めてのステンレススチール板と鉄筋コンクリートとの複合構造となっています。また、この橋は世界有数のコンテナターミナルに隣接し、大型船舶が頻繁に往来することから、海峡の水深は深く、橋面は海上から70mの高さに位置するなど難易度の高い工事となります。

入札には世界の主要なゼネコン、橋梁メーカーで構成された5コンソーシアム（企業連合体）が参加し、入札価格と技術・工事実績評価（50：50）をそれぞれ勘案する総合評価システムがとられました。前田建設・日立造船・横河ブリッジは過去にも香港でJVを組み、道路鉄道併用斜張橋では世界最長級のカプスイモン橋を完成（平成9年）させており、青衣北大橋などの香港における前田建設の実績とあわせて、当JVの技術力が高く評価され落札に至りました。

<工事概要>

所在地：香港 新界青衣島～九龍昂船洲
 発注者：中華人民共和国
 香港特別行政区政府路政署
 工期：平成16年4月27日～平成20年6月26日
 工事内容：全長1,596m
 （主径間1,018m 側径間578m）、
 主塔高さ295m



当社施工物件が香港の新紙幣に採用

前田建設が設計施工を担った「カプスイモン橋・マーワン高架橋」が香港の新紙幣（100香港ドル）の裏面の図柄に採用されました。本橋は香港国際空港と、北東にのびる北ランタオ高速道路およびエアポートエクスプレスラインを繋ぐ、非常に重要かつ身近な鉄道・道路併用橋です。平成9年5月に完成、2層式の橋の上段は分離式3車線車道（計6車線）を持ち、下段には2線の電車軌道を備えています。

カプスイモン橋（全長750m、主径間430m）は道路・鉄道併用の斜張橋として世界最長級であり、主塔の高さ150m、鋼板の重さ4,770t、コンクリートの重さ18,642tの莫大な資材を使用。周囲が海で資材の運搬が制約され、あわせて急傾斜地における施工と技術的難度も大変高い工事でした。

新紙幣は平成15年12月半ばから市場に流通し始めています。香港には日本銀行に相当する中央銀行は存在せず、民間の3銀行（香港上海銀行、スタンダードチャータード銀行、中国銀行）が香港特別行政区政府金融管理局の許可のもとで紙幣を発行しております。このたび採用されたのは最多の発行額を誇る香港上海銀行の100香港ドル紙幣です。図柄は、香港を代表する3つの橋、カプスイモン橋、チンマ大橋、ティンカウ橋全てを俯瞰するアングルで作成されております。



100香港ドル新紙幣

〈工事概要〉

所在地：香港 ランタオ島～マーワン島
発注者：中華人民共和国
香港特別行政区政府路政署
工期：平成4年11月～平成9年5月
工事内容：橋梁上部、橋梁下部、高架橋工事
橋総延長は1,253m

当社が施工の「Akebono Crystal Wing」 がBCS賞を受賞



当社が施工した「Akebono Crystal Wing」（平成13年11月竣工、用途：曙ブレーキ工業㈱の研究所兼オフィス）が、(社)建築業協会の「第44回BCS賞（建築業協会賞）」を受賞しました。

当物件の特徴は「営業・開発・生産部門に所属する人々が、プロジェクトに合わせて離散集合しながら流れていく業務空間を具現化したIT時代の次世代型オフィス」で、この点が高く評価されて今回の受賞につながりました。

BCS賞は、「優秀な建築物をつくり出すためには、デザインだけではなく施工技術も重要であり、建築主、設計者、施工者の三者による理解と協力が必要である」として、昭和35年に創設されました。以後、建築業協会では、良好な建築資産の創出を図り、文化の進展と地球環境保全に寄与することを目的に、毎年国内の優秀な建築作品の表彰を行っています。平成15年度は厳選な審査の結果、特別賞を含む20件の作品が受賞しました。

〈工事概要〉

所在地：埼玉県羽生市
発注者：曙ブレーキ工業株式会社
工期：平成13年1月～平成13年11月
延床面積：全棟延床面積11,556㎡
構造規模：S造地上2階

当社施工「オルトヨコハマ」が 屋上緑化大賞・国土交通大臣賞を受賞



平成15年10月に行われた「第2回屋上・壁面・特殊緑化コンクール」表彰式（主催：財都市緑化技術開発機構）において、当社施工の「オルトヨコハマ」が屋上緑化大賞・国土交通大臣賞を受賞しました。同コンクールは、建築物などの屋上や壁面など特殊空間の緑化に積極的に取り組んだ民間企業や公共団体、個人などを顕彰し、緑化技術の啓発普及を図ることを目的に実施されています。

「オルトヨコハマ」は、新子安駅西地区約2.4haに広がる住宅・業務・商業の3つのゾーンを持った駅前庭園都市で、横浜市内の地域拠点となっています。新子安駅前西地区第一種市街地再開発事業として整備され、当社の横浜支店が施工しました。当施設の屋上は人工地盤のため、植生基盤・風対策・維持管理面での配慮等に、「人工軽量土壌とEPS工法を複合した植栽基盤の軽量化技術」、「降雨センサーを組み合わせた自動点滴灌水システムによる省資源省管理技術」と「風荷重に対応しつつ樹木への負担を軽減する樹木支柱技術」の新しい屋上緑化技術を導入しました。

〈工事概要〉

所在地：神奈川県横浜市
 発注者：新子安駅西地区市街地再開発組合
 工期：平成10年7月～平成12年12月
 延床面積：123,382㎡
 構造規模：地上40階、地下3階
 SRC造、RC造、S造、全7棟

— 世界に輝く銀メダル！ —

「国際アビリンピック」で銀メダル受賞！

平成15年11月に、デリー（インド）で開催された「第6回国際アビリンピック」において、当社の安田恭望が銀メダルを受賞しました。

「アビリンピック」とは、障害者の技能五輪です。今回の大会には33カ国（地域）から日本選手団25名を含む418名の選手が参加しました。彼女は、平成13年に開催された「第25回アビリンピック（全国障害者技能競技大会）」のワードプロセッサ競技で優勝し、今回の日本代表選手に選出されました。

彼女の競技種目は「英文ワープロ」であり、これは英文原稿を指示に基づいて作成することや、早打ちで能力を競うものです。

「これまで日本語ワープロの訓練を受けてきましたが、この大会に出場するため、8月から英文ワープロの練習を始めました。課題については、英語そのものが想像以上に高いレベルでとても難しく、英語の意味がわからない分苦労しました。自分なりに知っている技能を使うことができたと思います。まさか銀メダルが取れるとは思わなかったので、とてもうれしいです」（安田）。

表彰式では、安田さんに銀メダルがかけられました。その時、日本初のメダルだったため、日本選手団を大いに奮い立たせました。最終的に日本が獲得したメダルは、銀メダルが2個、銅メダルが1個でした。



受賞報告（左から前田名誉会長、安田恭望、前田社長）

主な受注・完成工事

●受注工事

	発注者(敬称略)	工事名	工事場所
建築	(学)東北学院	学校法人東北学院中学・高等学校新築移転工事	宮城県
	町屋駅前南地区市街地再開発組合	町屋駅前南地区第一種市街地再開発ビル(仮称)新築工事等	東京都
	(学)早稲田大学	早稲田大学西早稲田キャンパス正門前整備工事	東京都
	スターツホテル開発㈱	(仮称)スターツ新浦安ホテル新築工事	千葉県
	住友不動産㈱	(仮称)北堀江1丁目計画新築工事	大阪府
土木	新潟県	鶴川ダム本体建設工事	新潟県
	関西国際空港用地造成㈱	2期空港島埋立工事(二次揚土その1)	大阪府
	日本道路公団	東九州自動車道佐伯インター工事	大分県
	交通部台湾区国道新建工程局	台湾東部高速道路9号隧道南工区	台湾
	地鐵有限公司	MTR5201トンチョンケーブルカー建設工事	中国

●完成工事

	発注者(敬称略)	工事名	工事場所
建築	草加市	新草加市立病院建設工事	埼玉県
	(学)大妻学院	大妻学院/大妻中学高等学校新築工事(第1期)	東京都
	都市基盤整備公団	東雲C街区住宅・施設建設工事	東京都
	三菱地所㈱他	(仮称)MM21-39街区マンション新築工事(第II期棟)	神奈川県
	鳥取県	鳥取県警察本部庁舎新築(建築主体)工事	鳥取県
土木	独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構	常新、三ノ輪T他1(イ)工事	東京都
	北陸電力㈱	志賀原子力発電所第2号機放水路工事	石川県
	日本道路公団	第二東名高速道路岡部トンネル(その2)工事	静岡県
	名古屋市	高速度鉄道第4号線八事北工区土木工事	愛知県
	九廣鐵路公司	西部鉄道201工区(錦田-天水圍)	中国

●当期の受注高・完成工事高及び次期繰越高

(単位:百万円)

区分	前期繰越高	当期受注高	計	当期完成工事高	次期繰越高
建築工事	317,588	258,298	575,886	280,314	295,571
土木工事	395,495	120,223	515,719	152,468	363,250
計	713,084	378,521	1,091,605	432,783	658,822

完成工事紹介（土木部門）



西部鉄道201工区高架橋工事

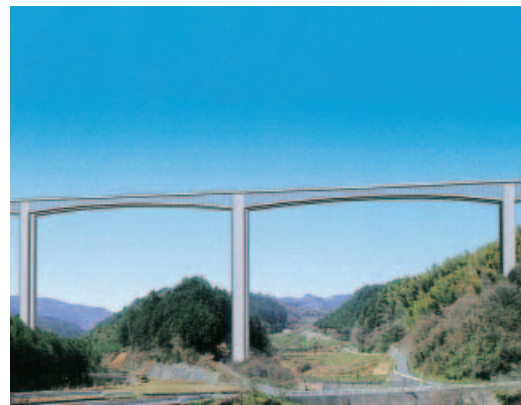
当工事は、九廣鐵路公司による九廣鉄道西部鉄道工事（延長約30km）のうち、2つの工区を一括受注した工事で、約5.6kmの高架複線を新設したものです。受注にあたっては工期短縮及びコストダウンを主眼に、当社の香港での高架橋工事の実績を生かした独自の技術提案を行い、発注者よりその技術競争力が高く評価されました。



常磐新線三ノ輪トンネル工事

当工事は、東京都・埼玉県・千葉県・茨城県を結ぶつくばエクスプレス（延長58km）のうち台東区浅草の新浅草駅（仮称）から荒川区の南千住駅（仮称）までの延長2,219m、セグメント外径10.0m、仕上がり内径9.2mの複線トンネルを泥水式シールド工法にて施工いたしました。

※泥水式シールド工法：泥水による切羽の安定を隔壁の前で行うもの



（注）当社の施工箇所は、橋脚部分であり、橋梁部分については、コンピュータグラフィックによる合成写真です。

四国横断自動車道長谷工事

日本道路公団発注の高速道路工事であり、施工延長2,469m、切盛土量100万 m^3 、橋梁区間396m（下部工：高さ65m）を施工いたしました。法面吹付工事には伐採材の再生利用として、当社保有のウッドベース工法を採用し、また、長谷川橋橋梁下部工においては、耐震性にも優れた鋼管・コンクリート複合構造により完成いたしました。

※ウッドベース工法：造成工事での大量な伐採材をチップ化し、堆肥化した上で緑化基盤材として利用し、伐採材を土に返そうとする自然循環型工法

完成工事紹介（建築部門）



新草加市立病院建設工事

当工事は、新しい「技術・価格提案型」の入札方式により、受注・施工をした草加市の新病院です。中間免震構造を採用し、免震スペースを駐車場として有効に活用、また、北側は、カーテンウォールと、病室のある高層部をV字に建物を開いて、採光を多く取り入れ、明るい雰囲気になっています。外壁タイルは、緑色で、周辺の環境に調和しており、コジェネレーションシステム、燃料電池も採用し新しいエネルギーの活用も図っています。

※中間免震構造：通常は基礎部分の上に設置する免震装置を建物の中間階に設置する構造

※コジェネレーションシステム：都市ガスや燃料から、電気や熱などのエネルギーを取り出す総合エネルギー効率の高いシステム



大妻学院／大妻中学高等学校新築工事

皇居にほど近い東京三番町の中高一貫教育校大妻中学・高等学校の校舎建て替え工事です。新校舎は地上9階地下1階の都心型高層校舎で、「知性と感性の融和を育む空間」をコンセプトに、最新機能の設備とインテリアジェント化、ダイナミックな吹抜空間やふんだんな木質内装により教育環境の整備を図っています。

鳥取県警察本部庁舎新築工事

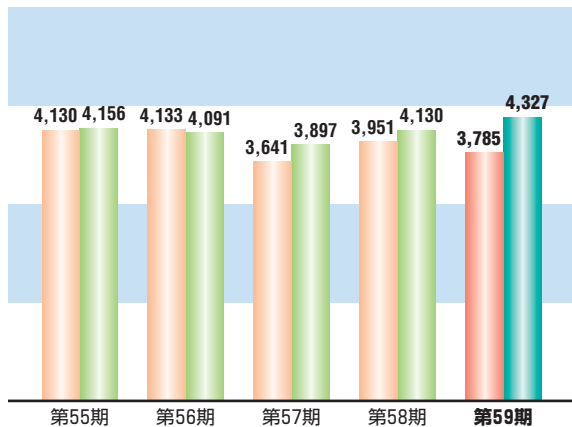
「鳥取県庁舎整備基本計画」の基本理念に基づき、既存の県庁舎との全体的統一を図り、人と自然にやさしく、環境と調和し、快適で機能性に富み、安全で耐久性のある庁舎として鳥取県庁構内に建設されました。警察本部の専用庁舎で110番システムなど警察の各種コンピュータシステムが整備されています。

業績の推移（単体）

●受注高・完成工事高

（単位：億円）

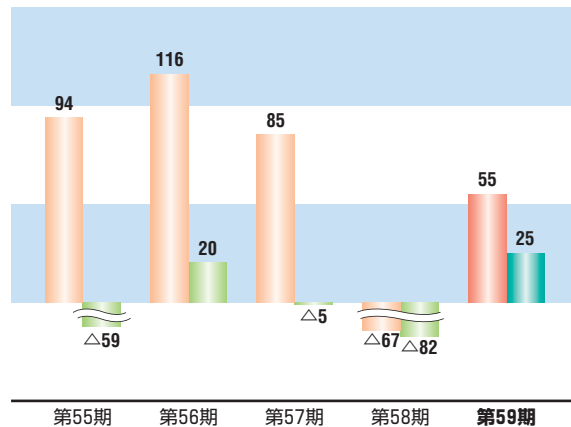
■ 受注高 ■ 完成工事高



●経常利益・当期純利益

（単位：億円）

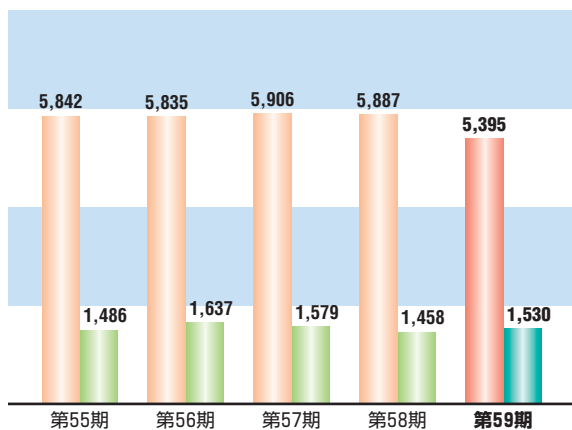
■ 経常利益 ■ 当期純利益



●総資産・純資産

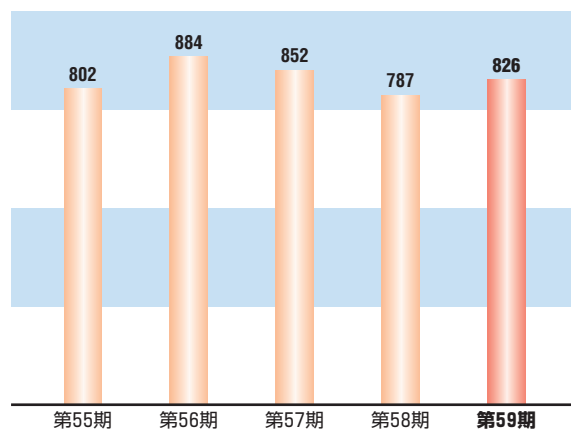
（単位：億円）

■ 総資産 ■ 純資産



●1株当たり純資産

（単位：円）



単体財務諸表の要旨

●貸借対照表

科目	(単位：百万円)	
	当期	前期
資産の部		
流動資産	392,857	449,055
現金預金	30,015	54,591
受取手形	30,852	18,777
完成工事未収入金	70,363	84,044
未成工事支出金	215,488	238,324
その他	46,136	53,317
固定資産	146,703	139,732
有形固定資産	66,003	68,420
建物・構築物	25,183	26,863
機械・運搬具	4,108	4,432
工具・器具備品	1,097	1,210
土地	35,523	35,800
建設仮勘定	91	114
無形固定資産	2,970	1,527
投資その他の資産	77,728	69,785
投資有価証券	66,348	52,341
その他	11,380	17,443
資産合計	539,560	588,788
負債の部		
流動負債	313,284	368,815
工事未払金	68,055	78,322
短期借入金	29,785	37,384
コマースハーパー	—	9,000
一年以内償還の社債	—	5,000
未払金	3,901	4,360
未払費用	—	262
未成工事受入金	184,232	209,097
その他	27,308	25,387
固定負債	73,213	74,146
社債	34,000	34,000
長期借入金	8,000	7,000
退職給付引当金	28,034	29,862
その他	3,179	3,283
負債合計	386,497	442,961
資本の部		
資本金	23,454	23,454
資本剰余金	31,579	31,579
利益剰余金	83,073	81,865
₁ 其他有価証券評価差額金	14,972	8,940
自己株式	△17	△14
資本合計	153,063	145,826
負債・資本合計	539,560	588,788

(注)有形固定資産の減価償却累計額

520億円

508億円

●損益計算書

科目	(単位：百万円)	
	当期	前期
売上高	432,783	413,073
売上原価	403,343	395,744
販売費及び一般管理費	24,119	23,766
営業利益	5,320	—
営業損失	—	6,438
₁ 営業外収益	2,159	2,228
₂ 営業外費用	1,916	2,498
経常利益	5,563	—
経常損失	—	6,707
特別利益	2,598	156
特別損失	3,160	3,017
税引前当期純利益	5,000	—
税引前当期純損失	—	9,568
法人税、住民税及び事業税	797	353
法人税等調整額	1,700	△1,695
当期純利益	2,503	—
当期純損失	—	8,226
前期繰越利益	1,982	2,103
当期未処分利益	4,486	—
当期未処理損失	—	6,123

(注)1株当たりの当期純利益

13円12銭

△44円42銭

●利益処分

科目	(単位：百万円)	
	当期	前期
当期未処分利益	4,486	—
当期未処理損失	—	6,123
任意積立金取崩額	—	—
₁ 固定資産圧縮積立金取崩額	34	1
₂ 別途積立金取崩額	—	9,400
計	4,521	3,278
利益処分額	—	—
株主配当金	1,666	1,296
取締役賞与金	75	—
任意積立金	—	—
別途積立金	700	—
計	2,441	1,296
次期繰越利益	2,079	1,982

(注)株主配当金は、当期は1株につき9円、前期は7円

連結財務諸表の要旨

●貸借対照表

科目	(単位：百万円)	
	当期	前期
資産の部		
流動資産	418,718	478,946
現金預金	32,487	58,733
受取手形・完成工事未収入金等	113,867	116,069
未成工事支出金	217,300	239,853
その他	55,061	64,290
固定資産	177,015	170,015
有形固定資産	81,310	83,987
建物・構築物	38,562	41,019
機械・運搬具・工具・器具備品	7,138	7,172
土地	35,393	35,661
建設仮勘定	216	133
無形固定資産	3,109	1,676
投資その他の資産	92,595	84,351
投資有価証券	79,073	64,227
その他	13,521	20,123
資産合計	595,733	648,961
負債の部		
流動負債	340,076	402,636
工事未払金等	78,061	87,184
短期借入金	49,896	59,347
コマースペーパー	—	9,000
一年以内償還の社債	—	5,500
未成工事受入金	185,102	209,386
その他	27,014	32,217
固定負債	82,496	81,786
社債	33,500	33,500
長期借入金	13,843	11,003
退職給付引当金	31,024	32,998
その他	4,129	4,283
負債合計	422,573	484,422
少数株主持分		
少数株主持分	3,199	2,926
少数株主持分合計	3,199	2,926
資本の部		
資本金	23,454	23,454
資本剰余金	31,579	31,579
利益剰余金	104,196	102,263
その他有価証券評価差額金	15,450	8,975
為替換算調整勘定	△49	△49
自己株式	△4,665	△4,612
資本合計	169,960	161,612
負債、少数株主持分及び資本合計	595,733	648,961

●損益計算書

科目	(単位：百万円)	
	当期	前期
売上高	484,318	458,855
売上原価	446,324	432,755
販売費及び一般管理費	30,526	30,869
営業利益	7,467	—
営業損失	—	4,769
営業外収益	2,221	2,287
営業外費用	2,287	2,863
経常利益	7,401	—
経常損失	—	5,345
特別利益	2,710	291
特別損失	3,899	3,300
税金等調整前当期純利益	6,213	—
税金等調整前当期純損失	—	8,355
法人税、住民税及び事業税	1,367	841
法人税等調整額	1,477	△1,754
少数株主利益	106	136
当期純利益	3,261	—
当期純損失	—	7,578

●キャッシュ・フロー計算書

科目	(単位：百万円)	
	当期	前期
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,043	△2,308
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,997	△4,318
財務活動によるキャッシュ・フロー	△21,157	10,939
現金及び現金同等物に係る換算差額	△81	△55
現金及び現金同等物の増加・減少(△)額	△26,193	4,257
現金及び現金同等物の期首残高	58,407	54,150
現金及び現金同等物の期末残高	32,213	58,407

●剰余金計算書

科目	(単位：百万円)	
	当期	前期
(資本剰余金の部)		
資本剰余金期首残高	31,579	31,579
資本剰余金期末残高	31,579	31,579
(利益剰余金の部)		
利益剰余金期首残高	102,263	111,928
利益剰余金増加高	3,261	—
利益剰余金減少高	1,329	9,664
利益剰余金期末残高	104,196	102,263

株式の状況 (平成16年3月31日現在)

● **会社が発行する株式の総数** 635,500,000株

● **発行済株式総数** 185,213,602株

● **1単元の株式の数** 1,000株

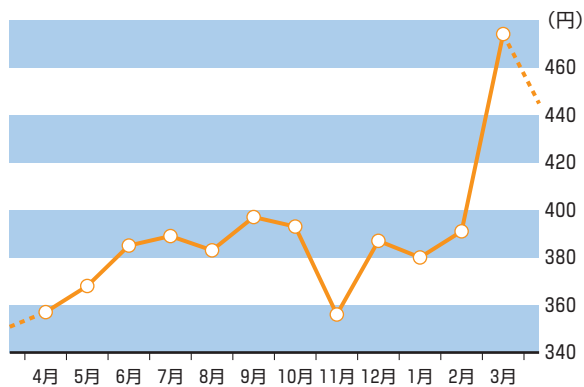
● **株主数** 10,828名

●大株主リスト

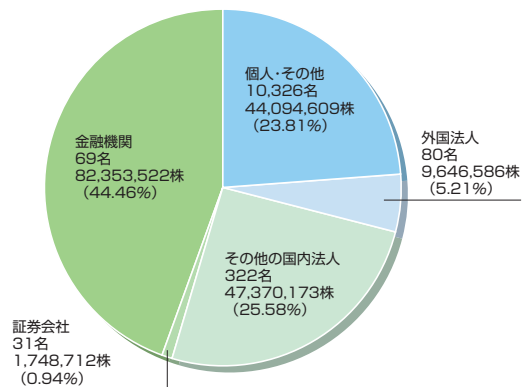
株主名	持株数	議決権比率
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	24,989千株	13.69%
光が丘興産株式会社	24,311	13.32
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	12,333	6.76
前田建設工業社員持株会	7,642	4.19
前田道路株式会社	6,750	3.70
株式会社みずほコーポレート銀行	5,959	3.26
株式会社三井住友銀行	5,170	2.83
株式会社損害保険ジャパン	3,410	1.87
明治安田生命保険相互会社	3,000	1.64
資産管理サービス信託銀行株式会社(年金信託口)	2,862	1.57

●株価(終値)の推移

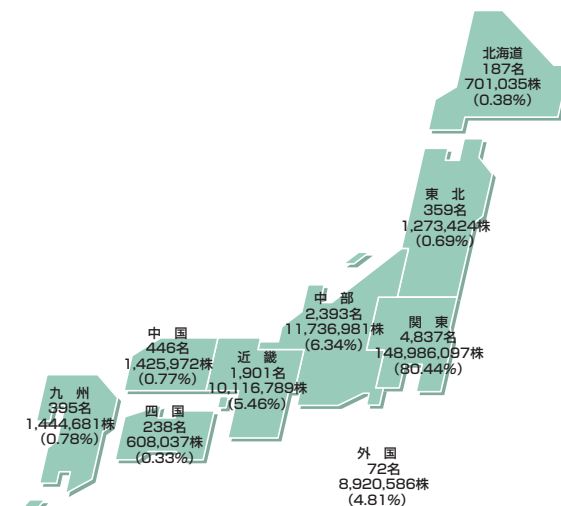
(平成15年4月1日～平成16年3月31日)



●所有者別分布状況



●地域別分布状況



(注) (株)証券保管振替機構名義の株式2,000株は所有者別分布状況では「個人・その他」に、地域別分布状況では「関東」にそれぞれ含まれております。

会社の概要

●創業

大正8(1919)年1月8日

●設立

昭和21(1946)年11月6日

●事業目的

1. 土木建築工事その他建設工事全般の請負、企画、測量、設計、施工、監理及びコンサルティング
2. 建設及び運搬用機械器具各種鋼材製品の設計、製造、修理、販売並びにこれに関連する工事の請負
3. 不動産の売買、賃貸、仲介、管理及び鑑定
その他

●資本金

23,454,968,254円 (平成16年3月31日現在)

●従業員

3,452名 (平成16年3月31日現在)
(注)平成16年3月31日付退職者を除いております。

●ホームページアドレス

<http://www.maeda.co.jp/>

●事業所

本 店 東京都千代田区富士見2の10の26
〒102-8151 ☎ (03) 3265-5551

光が丘本社 東京都練馬区高松5の8 J.CITY
〒179-8903

北海道支店 札幌市中央区南11条西11の2の1
〒064-8552 ☎ (011) 551-6141

東北支店 仙台市青葉区二日町4の11
〒980-0802 ☎ (022) 222-1231

関東支店 東京都千代田区九段北4の3の1(一口坂中央ビル)
〒102-8215 ☎ (03) 3222-0820

東関東支店 千葉県中央区中央3の3の1(フジモト第一生命ビル)
〒260-0013 ☎ (043) 227-3031

北関東支店 さいたま市大宮区大門町3の169の2(セコム損保大宮ビル)
〒330-0846 ☎ (048) 649-1601

長野支店 長野市篠ノ井御幣川1095
〒388-8006 ☎ (026) 292-0671

横浜支店 横浜市神奈川区反町2の16の8
〒221-0825 ☎ (045) 313-7000

北陸支店 富山市牛島町18の7(アーバンプレイス)
〒930-0858 ☎ (076) 431-7531

福井支店 福井市手寄1の16の14
〒910-0858 ☎ (0776) 24-2401

中部支店 名古屋市中区栄5の25の25
〒460-0008 ☎ (052) 251-6251

関西支店 大阪市西区江戸堀1の3の15(新石原ビル)
〒550-8515 ☎ (06) 6446-9511

神戸支店 神戸市中央区三宮町1の3の1(神戸Fビルディング)
〒650-0021 ☎ (078) 321-3248

四国支店 高松市寿町1の1の12(東京生命館)
〒760-0023 ☎ (087) 851-6341

中国支店 広島市中区鶴見町2の19(ルーテル平和大通りビル)
〒730-0045 ☎ (082) 246-9181

九州支店 福岡市博多区博多駅東2の14の1
〒812-0013 ☎ (092) 451-1541

香港支店 Room 1601-1605, New East Ocean Centre,
9 Science Museum Road, Kowloon, Hong Kong.

技術研究所 東京都練馬区旭町1の39の16
〒179-8914 ☎ (03) 3977-2241

営業所 全国37カ所

海外事業所 グァム出張所(米国)
バンコック出張所(タイ)
プノンペン出張所(カンボジア)
台湾出張所(台湾)
ロサンゼルス駐在員事務所(米国)
ジャカルタ駐在員事務所(インドネシア)
北京駐在員事務所(中国)
上海駐在員事務所(中国)
ハノイ駐在員事務所(ベトナム)
ヤンゴン駐在員事務所(ミャンマー)

(注) ヨーロッパ駐在員事務所(英国)ならびに深圳駐在員事務所(中国)は平成16年3月31日付にて閉鎖いたしました。

役員 (平成16年3月31日現在)

代表取締役会長	前田 又兵衛
代表取締役社長 執行役員社長	前田 靖治
代表取締役 執行役員副社長	峯本 守
代表取締役 執行役員副社長	北村 美也彦
取締役 執行役員副社長	布施 洋一
取締役 執行役員副社長	福井 幸平
取締役 専務執行役員	川嶋 信義
取締役 専務執行役員	上田 恵一郎
取締役 専務執行役員	廣田 正
取締役 常務執行役員	佐藤 英治
取締役 常務執行役員	前田 操治
取締役 執行役員	福田 幸二郎
取締役	清末 直行

監査役(常勤)	皆合 達夫
監査役(常勤)	加藤 敏夫
監査役(常勤)	上杉 慶次
監査役	城内 康光
監査役	桑田 勝利

専務執行役員	加藤 彰
常務執行役員	友部 雄策
常務執行役員	大和 稔
常務執行役員	富岡 康直
常務執行役員	藤森 泰明
常務執行役員	工藤 和男
常務執行役員	中島 治郎
執行役員	井上 隆三郎
執行役員	高橋 勉
執行役員	横田 浩
執行役員	渋谷 弘
執行役員	剣地 弘隆
執行役員	川瀬 祥一郎
執行役員	赤島 正晃
執行役員	市川 泰彦
執行役員	圓尾 龍太
執行役員	新藤 周一
執行役員	竹内 利征
執行役員	大木 俊英
執行役員	長谷 康生

- (注) 1. 監査役皆合達夫、監査役城内康光および監査役桑田勝利の3氏は、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律第18条第1項に定める社外監査役であります。
2. 取締役清末直行氏は、平成15年10月16日付で常務執行役員を退任し、東洋建設株式会社の執行役員副社長に就任(兼任)いたしました。



前田建設工業株式会社 Maeda Corporation

●株主メモ

1. 決算期 3月31日
2. 定時株主総会 6月中
3. 上記基準日 3月31日
なお、あらかじめ公告して、基準日を定めることがあります。
4. 配当金 毎年3月31日の最終の株主名簿及び実質株主名簿に記載又は記録された株主に対してお支払いします。
5. 1単元の株式の数 1,000株
6. 名義書換代理人 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
〒103-8670
東京都中央区八重洲一丁目2番1号
- 同 取次所 みずほ信託銀行株式会社 全国各支店
みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
7. 手数料 名義書換 無料
株券再発行 1枚につき262円（消費税含む）
8. 公告掲載新聞 東京都において発行する日本経済新聞
※当社は決算公告に代えて、貸借対照表及び損益計算書を当社ホームページ（<http://www.maeda.co.jp/>）に掲載しています。
9. 郵便物送付及び電話お問合せ先 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
〒135-8722
東京都江東区佐賀一丁目17番7号
☎(03) 5213-5213（代表）



この事業報告書は環境にやさしい大豆油インキで印刷しています。



古紙配合率100%の再生紙を使用しております。